

福島工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	日本文化論	
科目基礎情報							
科目番号	0007			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	ビジネスコミュニケーション学専攻（ビジネスコミュニケーション学コース）（R4年度から）			対象学年	専1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材							
担当教員	渡部 裕太						
到達目標							
① 日本近代文学のうち、とくに小説について、その成立と変化とを理解する。 ② 日本近代文学における基礎的な知識を習得する。 ③ 近代日本の言語文化がいかにように発展したのかを説明できるようになる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
近代日本小説史	大まかな小説史について説明できる。			大まかな小説史について理解できる。		小説史が理解できない。	
言語文化	言文一致以降の言語文化の発展が説明できる。			言語文化の発展がおおよそ理解できる。		言語文化の発展が理解できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	明治以降の言語芸術・小説について、実際に作品に触れながら、その変容の諸相を考える。小説のほかに、同時代の評論・思想潮流などにも目を配り、小説の変化・文体の変遷が何を原因に生じ、何を指したものであったのかを大づかみに理解することをめざす。						
授業の進め方・方法	期末試験は100分の試験を実施する。 定期試験の成績80%、課題等20%で評価し、60点以上を合格とする。						
注意点	課題・復習として作品を読んでくれることが求められる。古い文献を読み慣れない場合は、ある程度時間がかかることを履修時に意識しておくこと。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業ガイダンス		授業の進め方・必要な心構えが理解できる。		
		2週	戯作から小説へ		明治最初期の文学の興りを理解できる。		
		3週	文体の模索		言文一致運動について理解することができる。		
		4週	自然主義文学		自然主義について理解することができる。		
		5週	耽美派と白樺派		自然主義とは異なる立場を理解できる。		
		6週	大正教養主義と文壇		大正教養主義について知り、同時代の文学者の活動が理解できる。		
		7週	プロレタリアの時代		マルクス主義運動と政治的な文学の発生が理解できる。		
		8週	新感覚派とダダ		プロレタリア文学以外の同時代の潮流が理解できる。		
	2ndQ	9週	戦争と文学		戦時下の検閲と文学活動の制限を理解することができる。		
		10週	戦後文学の諸相 1		戦後の出版活動とGHQの検閲について理解できる。		
		11週	戦後文学の諸相 2		戦後の新しい文学潮流について理解することができる。		
		12週	高度経済成長期の文学		高度経済成長期の社会状況と文学の変化が理解できる。		
		13週	現代の文学へ		現代の文学の特徴について考えることができる。		
		14週	授業内容の復習		全体を振り返り、近代文学の流れを自分なりに説明することができる。		
		15週	試験の返却と解説		認識の誤りや理解の足りない部分について、補うことができる。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
		定期試験	課題		合計		
総合評価割合		80	20		100		
授業内容の把握		60	10		70		
文章表現力		20	10		30		